

カタリバと連携した不登校支援について

総合教育センター

1 目的

不登校児童生徒に対してオンラインによる社会とつながる場を提供し、個々の状況に応じた学びを支援することにより、社会的自立に向けて必要な力を培う。

2 これまでの経緯

- ・ 9月7日(水) カタリバによる事業説明(義務教育課・総合教育センター参加)
- ・ 9月22日(木) カタリバと総合教育センターによる打合せ
令和5年度は、20名まで無料で試行可能
県(数市)とカタリバが契約を結ぶ方向性を確認
- ・ 県内各市への周知と希望する市の募集
- ・ 10月下旬 伊勢崎市、太田市、藤岡市の3市が希望
- ・ 11月～ カタリバと総合教育センター、3市の打合せ
- ・ 2月28日 群馬県とカタリバとの協定締結完了

3 今後の取組

令和4年度

3月末 room-K を利用できる環境設定完了

令和5年度

- ・ 4月～ 利用児童生徒の決定と room-K 試行開始
- ・ 試行における成果と課題の集約 等

※ NPO カタリバについて

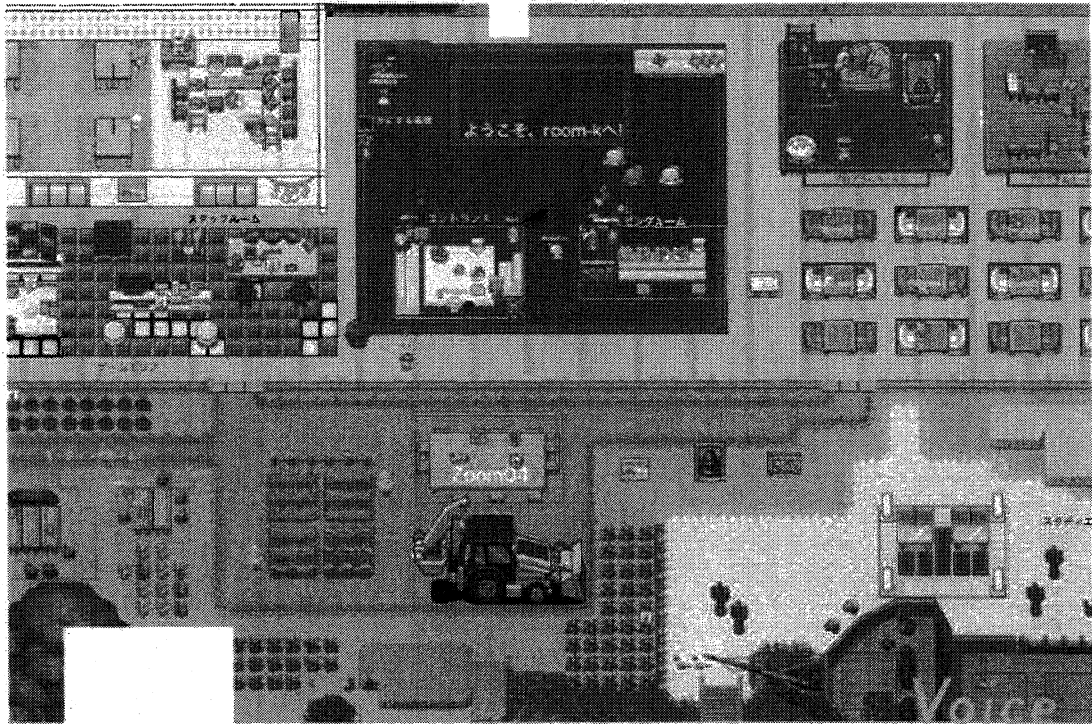
NPO カタリバは、どのような環境に生まれ育った10代も未来をつくり出す意欲と創造性を育める社会を目指し、2001年から学びのサポートや居場所づくりに取り組む教育NPO。

2019年に立ち上げた「みんなのルールメイキングプロジェクト」は、経済産業省「未来の教室実証事業」に選ばれている。

※ 「room-K」について

「room-K」は、NPO カタリバのプロジェクトの一つであり、現役小学校教員や特別支援学校教員などの専門家と共に開発した独自の不登校支援プログラムである。

臨床心理士や社会福祉士などのバックグラウンドをもつコーディネーターが、保護者・児童生徒と面談し、個別支援計画を作成する。その計画を基に、専属の支援計画コーディネーター・子供メンターがオンラインで定期的な面談を行い、児童生徒と保護者に寄り添いサポートしていく。

Katariba
Magazine


No.261

メタバース空間は、不登校の子どもたちにとってひとつの「教室」【代表のつぶやき】

 date
 2022.10.18

 category
 #代表のつぶやき

 writer
 今村 入美
tag [カタリバで働くひと](#)

Share this Article

[NHK首都圏NEWS「『メタバース』活用し不登校児を支援」](#)

カタリバで開発を進めている【メタバース登校】の様子を、丁寧に取り上げていただきました。（クリックして動画をご覧ください）